

高根沢町デマンドバス運営・運行業務プロポーザル審査方法・審査基準

1 審査方法

- (1) 審査は、高根沢町デマンドバス運営・運行業務プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が行う。
- (2) 審査は、加算点方式による評価と減点方式による評価とを組み合わせることにより、参加者の提案等を点数化して行うものとする。
- (3) 審査に当たっては、参加者によるプレゼンテーションを実施するものとする。
- (4) 審査の対象は、提出書類、プレゼンテーション及びヒアリングとし、これらの内容について「3 審査基準」に照らして審査を行うものとする。
- (5) 加算点方式については、委員個人の持ち点を 70 点とし、全委員の合計点を加算点方式の点数とする（下表Ⅰ）。
- (6) 減点方式については、「3 審査基準」に照らして点数化するものとし、委員個人による評価は行わない（下表Ⅱ）。
- (7) 加算点方式による評価の点数及び減点方式による評価の点数を合計した総合得点（下表Ⅰ＋Ⅱ）が高いものを上位として順位付けを行う。上位者の提案の点数が同点となった場合は、減点方式による評価の点数が 0 点の者を上位とする。それでもなお同点の場合は、審査項目のうち「利便性向上・利用増進策」の項目点数が高い者を上位とする。
- (8) 加算点方式による評価について、委員の持ち点の 10 分の 6（42 点）未満の委員が過半数となった場合、業務履行に係る要求水準を満たさないものとみなし、当該参加者については順位付けを行わない。

Ⅰ 加算点方式による評価				
	委員 A	委員 B	…	計
審査項目①				
審査項目②				
…				
加算点 計				(Ⅰ)
Ⅱ 減点方式による評価				
審査項目①	▲			
減点 計				(Ⅱ)
総合得点				(Ⅰ＋Ⅱ)

2 プレゼンテーション及びヒアリング

- (1) プレゼンテーション及びヒアリング実施会場に入室できる者は、説明者（参加者の代表者又は直接雇用されている者の計 3 名以内）のみとする。ただし、病休等のや

むを得ない理由により欠席を余儀なくされる場合は、変更後の出席者を事務局に申し出た上で承諾を得ること。なお、プレゼンテーション及びヒアリングには共同事業体を構成する者の出席は認めない。

- (2) プレゼンテーションの時間は 30 分以内とする。
- (3) プレゼンテーション後、ヒアリングの時間を 20 分程度設けるものとし、質疑応答の内容も審査に含めるものとする。なお、提出書類の内容について質疑を行うこともある。
- (4) プレゼンテーションにおいて説明・提案する業務内容は提案書に記載されている事項とし、プレゼンテーションの場における新たな業務提案はできないものとする。
- (5) プレゼンテーションはプロジェクターを使用して行うことができるものとする。この場合、提出書類の内容を PowerPoint 等を用いてスライド形式に編集することを認めるが、提出書類に記載のない事項を含めてはならない。また、電源の提供以外の必要な機材（プロジェクターやパソコン等）は説明者が用意するものとするが、事前に申出があった場合に限り、プロジェクターについては町が所有するもの（EPSON EB-W06）を使用することができる。
- (6) プレゼンテーションの日時については、実施の 1 週間前までに、事務局が参加者に対し個別に通知するものとする。

3 審査基準

(1) 加算点方式による評価

審査項目		審査内容	基準	評価 点数
①	事業者に関する情報	事業者の概要 ○事業者規模、財務状況などに問題なく、運行事業者として実施する能力を有しているか。	良好: 5 ～ 劣る: 1 の 5 段階評価	5
		旅客運送事業の実績 ○デマンド型交通の業務遂行に必要な知識・経験を有しているか。	良好: 5 ～ 劣る: 1 の 5 段階評価	5
②	実施方針等	実施方針（取組意欲） ○本町の公共交通施策についての認識、公共交通機関としての責任感があるか。 ○運行改善に向けた具体的な提案など、本業務に積極的に取り組む姿勢は十分か。	良好: 5 ～ 劣る: 1 の 5 段階評価	5
		実施体制 ○実施体制（人員配置、設備等）は、運行の安全性や信頼性が確保できる体制とな	良好: 5 ～ 劣る: 1 の 5 段階評価	5

		っているか。 ○予約電話受付はスムーズな業務実施体制となっているか。		
③	運行の安全性	輸送安全マネジメントの導入状況 ○経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制が構築されているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		運行管理体制、整備管理体制、労務管理 ○運行管理体制は整っているか。 ○日常的に車両の点検や整備を行う体制が整っているか。 ○適切な乗務割、労働時間を前提とした運転手の選任計画はどうか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
④	緊急体制	事故時の処理体制、連絡体制 ○事故が発生した際、即座に対応できる体制が整っているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		災害発生時等の緊急時の対応能力 ○緊急時の際、即座に対応できる体制が整っているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		予備車両の状況 ○事故等が発生した際、代替車両を配車できる体制が整っているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
⑤	利便性向上・ 利用増進策	高齢者、障害者への配慮 ○バリアフリーの対応は整えられるか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		運転手に対する教育体制 ○運転手に対する教育体制は妥当か。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		利用増進のための提案 ○利用者に対するサービスの向上、利用促進に関する具体的な取組及び提案が示されているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
		苦情対応体制 ○苦情対応体制は整っているか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5

⑥	環境への配慮	環境配慮への取組状況 ○事業者として、低公害車の導入状況や省エネルギーへの取組状況など環境配慮へ取り組んでいるか。 ○公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のグリーン経営認証又はISO 14001の取得はあるか。	良好:5～劣る:1 の5段階評価	5
合 計				70

(2) 減点方式による評価

審査項目		審査内容	基準	評価 点数
①	運行の安全性	国土交通省による処分の状況 ・過去3年間に処分を受けた → 劣る ・過去3年間に処分はない → 普通	普通: 0 劣る: -10	0～ -10
合 計				0～ -10